

蒲生干潟周辺の塩分濃度 58

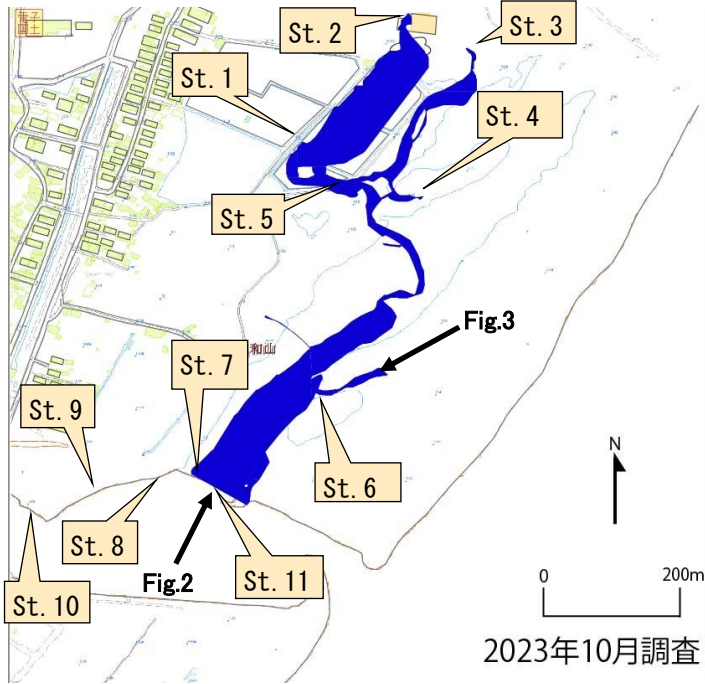


Fig.1 2023/10/26 採水点

Table.1 2023. 10月 塩分濃度(%)

採水点	2023 10/26	2023 9/20	増減	2022 10/20	増減
St. 1	1.3	1.8	-0.5	2.4	-1.2
St. 2	1.5	1.9	-0.4	0.7	0.8
St. 3	1.6	2.1	-0.5	1.6	0.1
St. 4	2.0	2.6	-0.6	2.4	-0.4
St. 5	1.8	2.5	-0.7	2.9	-1.1
St. 6	2.5	2.9	-0.4	2.8	-0.3
St. 7	2.5	3.0	-0.5	2.8	-0.4
St. 8	2.8	3.1	-0.3	1.2	1.6
St. 9	3.3	1.6	1.7	1.2	2.1
St. 10	2.4	0.8	1.6	1.0	1.4
St. 11	3.2	2.1	1.1	3.4	-0.2

※ 汽水基準値(0.05~3.0%)



Fig.2 導流堤から干潟中央方向の様子



Fig.3 St.11付近の様子

調査日時：2023年10月26日（木）9:30~11:30（干潮 7:39 潮位 46cm），天気：晴れ

干潮後から満潮に向かう時間帯での調査。Fig.1に示す採水点St.1~St.11を対象に塩分濃度の測定を行った。塩分濃度の測定については前月までと同じ方法で行った（過去レポート参照）。それぞれの結果を2023.10月塩分濃度（%）としてTable.1に記載し、前回までの調査(2023. 9月, 2022.10月)結果と比較した。

干潮後のため、潟湖内の水量は非常に少なく、導流堤では水門以外には水の流れはなかった（Fig.2）。また、全体的に水量が少ない中であつたが、南側の南東部の潟湖はしっかりと水量を保っていた（Fig.3）。塩分濃度は、先月と比較すると、潟湖内のすべての地点で低い値を示した。昨年との比較では、最北端部のSt.2, 3で高い値を示したが、潟湖中央付近のSt.4~7では低い値を示した。St.5付近の濃度が昨年よりも1.1%低い値を示したが、潟湖中央へ向かう水の流れがあつたため、北側潟湖の濃度に近い値となつたことが予想される。

（沼尾和弥）